

2018・小学校高学年「こんぴら狗」

私は「こんぴら狗」について知りませんでした。/ はじめて知りました / 狗の読み方がわかりませんでした。

こんぴらは、調べてみました / お母さんに聞いてみました / 聞いたことがあります / 行ったことがあります。

(こんぴらについて知っていること) ということがわかりました / は知っています。

もし私がムツキの飼い主の弥生なら、ムツキを一匹だけで金毘羅さんにお参りに行かせるのは、

だと思いました。

なぜなら、 だからです。

でも、こんぴら狗を見たまわりの人たちは なので、

私は、 だと思いました。

この物語で一番印象的な場面は、 です。

というところが、

悲しくなりました / ワクワクしました / ビックリしました / ジーンときてしまいました / うれしくなりました。

もし私がこんぴら狗にであったら、

するだろう / しないうだろう と思いました。

私が犬でムツキのように見知らぬ場所へ旅に出ることになったら、好奇心いっぱいワクワクした / 大冒険

ができる！とはりきった / 不安で逃げ帰りたい / 誰か助けてくれないかなと心細い 気持ちになると思います。

(一番印象的な困難に出会った場面) のときは、

だと思いました。 / と感じました。

(一番印象的な別れの場面) の場面では、

だと思いました。 / と感じました。

いろいろな人との出会いや別れ、たくさんの困難を乗り越えて長い旅をやりとげたムツキは、

だと思いました。 / と感じました。

ムツキの帰りを待ちわびる弥生は、 ではないかと思います。

私も (後になってこうかいた / 不安になった / 言わなければよかったと思った体験) ということがありました。

後になって / 今思えば / そのあとれいせいになってから だと思いました。

ムツキが無事に帰ってきて、

ではないかと思いました。 / 考えました。